

鍋倉山・森太郎 BC ツアー報告

【山城】 関田山脈・鍋倉山

【日程と天気】 2015年4月25日（土）晴れ

【メンバー】 CL 菊池・鶴田・住田・池田・薄井・庭田・会員外2名

【行程】 千葉—温井—880m 除雪終了地点駐車場—西ノ沢—鍋倉山山頂—北東急斜面滑走（標高差 200m）—鍋倉山山頂（1288m）—東・北東尾根—ブナの巨木「森太郎」標高 1050m 付近—駐車場 —新井 SA(日本海鮮魚センターで寿司など購入—焼山温泉入浴—笹倉温泉近辺でテント泊 累計標高差 登り・下りとも標高差 600m 行動時間：約 3 時間半

・焼山北面台地の前菜（前哨戦）として選んだのは、この時期おすすめ定番の鍋倉山・森太郎 BC ツアーである。数日前から標高 880m の除雪終了地点に入ることができ、西ノ沢



を詰めると 1 時間半弱で山頂に到達できる。温井はブナの新緑と残雪のコントラストが映える時期である。

西ノ沢ルートを最後まで詰めて登るのが最短時間であり、沢の左側のトラバースルートを先行した他グループより一足早く山頂に到達できた。高温の陽気に霞み妙高山系や日本海



はくっきり見えなかったが、気持ち良い山頂で一休み、時間も十分あり北東ダイレクト急斜面に飛び込んで標高差 200m

のブナ林極上ザラメ滑走、大きなブナのツリーホールに落ちないように注意を喚起し慎重に滑走した。

・登り返しての 2 本目は東・北東尾根の緩・中斜面を思い思いに気持ちよく滑走し標高 1050



mほどの巨木の谷にある「森太郎」にトラバース気味に到達した。1 年ぶりの再会である。いつ見ても威風堂々とした素晴らしいブナの巨木に初

体験の 5 名を含め、一同感激した。記念撮影の後、駐車場に下る急斜面も無難にこなし、予定より早い午後 1 時前に 1 日目のツアーを終了した。前菜と言っても短時間でこれだけ満足できるエリアは「そうないだろう」と鍋倉山の魅力を再認識した。信濃町を離れたが、これからも毎年 2~3 回は訪れたいエリアである。

・コンビニで夕食・朝食の食材・酒を購入、飯山豊田 IC から高速に乗り、新井 SA の「日

本海海鮮センターで夕食・宴会用に寿司・刺身などを購入、千葉から持参した発砲スチロールに残雪を入れ、冷蔵庫に保存・冷蔵しながら、焼山温泉に向かった。

新緑と残雪の山々の素晴らしい焼山温泉、一日の疲れをゆっくり癒し、笹倉温泉の近くでテントを張り、待望の夕食宴会は大いに盛り上がり、いよいよ翌日の焼山北面台地への期待に胸を膨らませながら就寝した。

